

経営比較分析表（平成30年度決算）

福井県公立小浜病院組合 小浜病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	ド透I 訓 方	救 臨 感へ 災 輸
人口 (人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	看護配置	
-	32,339	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

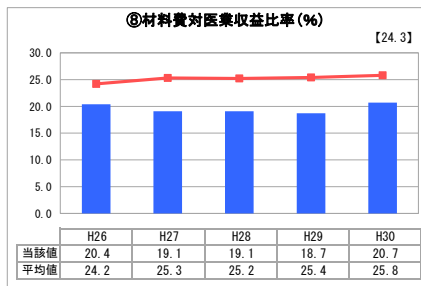
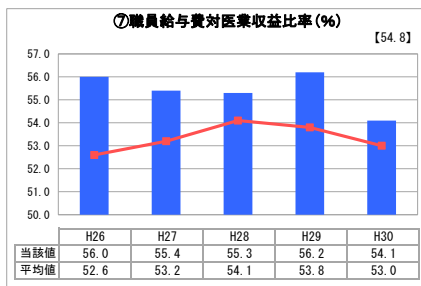
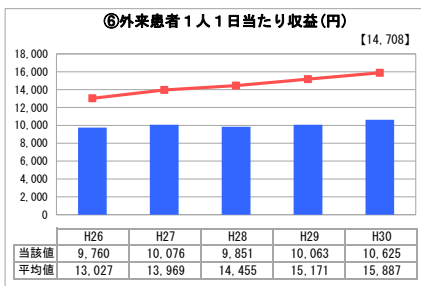
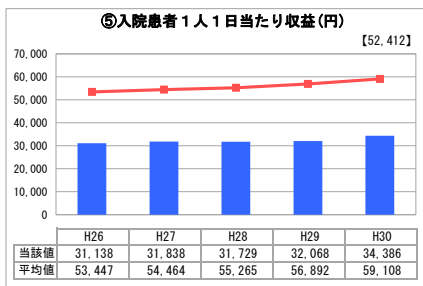
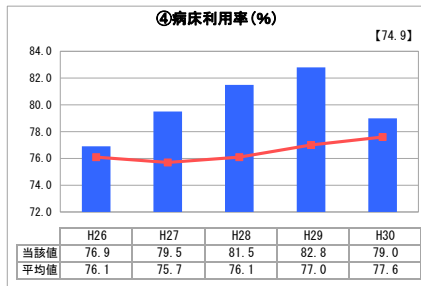
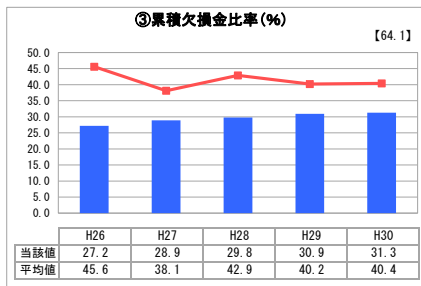
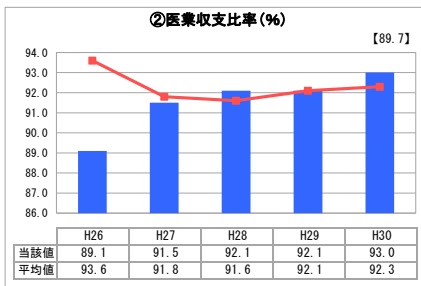
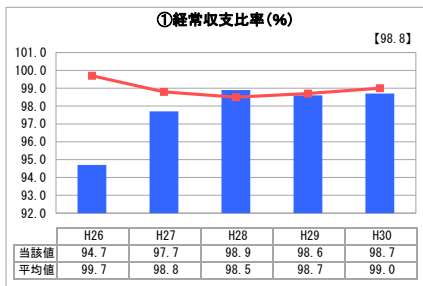
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 がん…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床 (一般)	許可病床 (療養)	許可病床 (結核)
296	50	8
許可病床 (精神)	許可病床 (感染症)	許可病床 (合計)
100	2	456
稼働病床 (一般)	稼働病床 (療養)	稼働病床 (一般+療養)
290	50	340

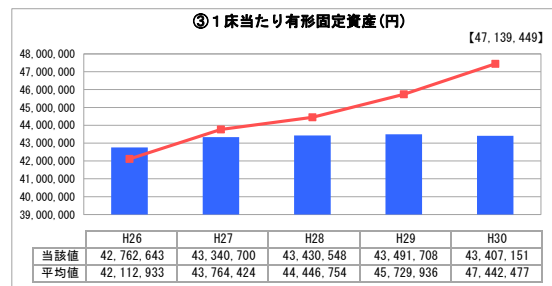
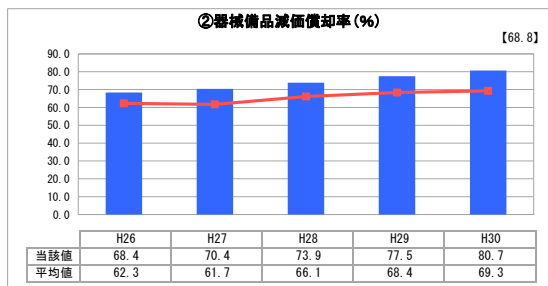
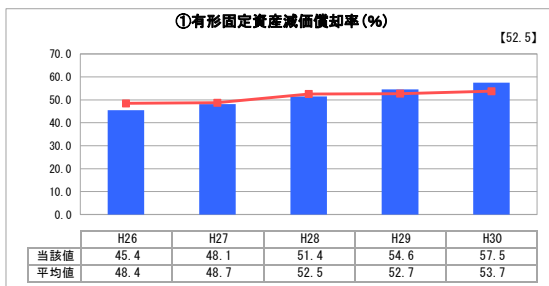
グラフ凡例

- 当該病院値 (当該値)
- 類似病院平均値 (平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組 (直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域において、第1次医療から第3次医療までを担い、高度急性期医療から慢性期医療まで幅広い医療を提供する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新公立病院改革プラン（以下「新改革プラン」という。）を策定し、それに基づき数値目標を設定し事業運営に取り組んでいる。
 ②医業収支比率、⑤入院患者1人1日当たり収益、⑥外来患者1人1日当たり収益、⑦職員給与費対医業収益比率は数値目標を達成している。
 ①経常収支比率、③累積欠損金比率、④病床利用率、⑧材料費対医業収益比率は数値目標を達成できなかった。
 この結果を検証し、未達成項目は数値目標達成に、達成項目は更なる数値向上に引き続き取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

施設全体の減価償却（老朽化）の状況及び器械備品の減価償却（老朽化）の状況は類似病院を上回っている。
 これは整備事業による集中した更新を実施、また日常点検、外部定期保守の実施により、修理軽減や耐用年数の長期化を図っている影響がある。更新については、稼働状況等収益性を十分考慮し、必要と判断したものは計画的に更新していく。
 建設投資の状況は類似病院を下回っている。
 これは、上記の影響や経営状況にも影響されている。今後も、新改革プランに基づき計画的かつ効率的な老朽化対策、更新に引き続き取り組む。

全体総括

新改革プランについては、地域医療構想との整合、経営状況等当院の置かれている現状や成果を検証するとともに、見直しの必要性についても随時検討をしていく。
 持続可能な経営を維持していくため、引き続き収益確保及び費用の削減に努め、早急に単年度黒字を達成しそれを継続させ、累積欠損金の削減を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。